

パモジャ PAMOJA



第22号
青年海外協力隊 巢守 世那
2025年 10月20日発行

チャレンジの日々

Hamjambo?



とうとう雨季がやって来て、また暑い日々が始まりました。さんまを食べて、日本の秋を感じたいです。私はというと、もうすぐタンザニアに来て10か月が経とうとしています。それなのに、まだ何もできていない自分に焦ります。いろいろな教材を作ったり、授業を先生と相談したりとチャレンジするのですが、なかなかうまくいかず、どうしたらいいのだろう・・・と悩み続けながら探しています。でも、「mwaliimu(ムワリム:先生)セナ～」と笑顔で駆け寄ってきてくれる子どもたちに、頑張らなきゃと励まされています。今回はそんな最近の学校の様子をお届けします。Tutaonana tena!



9月に7年生は国家試験が終わり、卒業しました。6年生の子たちと協力し、折り紙でハートやリボンを折り、それにメッセージを書き7年生にプレゼントしました。みんな初めての折り紙に苦戦しながらも、自分で折れるようになって楽しくなって、たくさん作っていました。



4年生と「かけ算名人チャレンジ」を頑張っています。合格がもらえるように、一人で何度もかけ算を唱えながら練習している様子も見られて嬉しいです。言えた時のほっとした表情や、「できるようになったよ」という自信にあふれた表情にほっこりします。

子どもたちや先生から「日本語を教えてほしい」との声があり、4年生と6年生を対象に日本語や日本の文化を紹介する授業を定期的に行うことに。あいさつの練習をしたり、日本語の歌を歌ったりしています。この前は、オンラインで日本とタンザニアをつなぎ、日本の小学校6年生とタンザニアの6年生で交流授業をしました。一緒にスワヒリ語の歌や「大きな栗の木の下で」を歌ったり、質問をしたりしました。日本とタンザニアの子どもたちにとってとても貴重な経験になったと思います。



砂の上に手で道を書き、その道に沿ってペットボトルのふたを飛ばしながら進むゲームが流行り



授業が終わった後、一緒に数について勉強